

まきびと カルデアの牧人 ～校長だより～ No.28

脚下照顧・新たな節目を迎えて ～ 3学期始業式 ～

皆さんは「脚下照顧（きゃっかしょうこ）」という言葉聞いたことがありますか。知っている人もいるかもしれませんが、禅宗の教えで「自分の足元をよく見なさい」という意味です。お寺の入り口や看板で目にすることもあります。

この言葉には、身近なことに気を配る大切さが込められています。例えば、学校でも家庭でも靴やスリッパが散らかっていると、落ち着きのない印象を与えます。忙しい日々の中でも、履物を揃える心の余裕を持ちたいものです。そうした小さな行動が、素直な考え方や正しい判断力につながるのではないのでしょうか。さらに「脚下照顧」には、「他人に理屈を言う前に、自分の足元を見つめ直し、自分自身を振り返りなさい」という戒めの意味もあります。これまでの高校生活を振り返り、自分がどれだけ成長できたか、何が足りていないのかを考えてみてください。身だしなみを整えることもその一環です。春に向けた準備を着実に進めてほしいと思います。

さて、2学期の終業式では、DXハイスクールについてお話ししましたが、大東高校では新年度に向けていくつかの新しい取り組みの準備を始めています。その一つに、レスリング部の創部があります。すでに地域でも話題になっているかと思いますが、来年度からレスリング部を創部する準備を進めています。

今年7月には、雲南市のアスパルで全国高校総体（インターハイ）のレスリング競技が開催されます。本校はこの大会の高校生活動の幹事校として活動しており、1年生の小島さんと勝部さんが推進委員を務めてくれていますので、皆さんもよくわかっていることと思います。また、2030年に予定されている国民スポーツ大会でもアスパルがレスリング競技の会場となることもあり、雲南市ではレスリングを地域のスポーツとして推進していく機運も高まってきています。

こうした流れの中で、雲南市や地域の皆さんからの強い要請を受け、レスリング部を新たに創部することにいたしました。雲南市や地域の関係者の方々の協力により、外部の専門的指導者の選定や練習環境の整備を進め、新入生を迎える形で来年度から活動をスタートさせる予定です。

3学期は皆さんにとって、次の学年に向けた大切な準備期間です。「探究アワード」など、学びの締めくくりも大切です。新しい年度に向けてしっかりと準備を整えていきましょう。

